

『夕方』 作：ポチ子

夕方のオレンジ色に染まった道。

スケボーに乗った小学生が前を走る。

私なんかよりも早くて、

気づけば次の曲がり角に消えていった。

その後姿をみて、

なんだか泣きそうになった。

スケボーになんか乗ったことないし、

今日、仕事で嫌なことがあったわけでもない。

小学生に戻りたくなっただのかな。

でも、戻れないな。

宿題も、門限も無くなって、

今の方が自由。

何だってできる。

夕飯のメニューだって、

自分で決められる。

なのに、

あの男の子のほうが自由に思えて。

羨ましくて。

ああ、また泣きそうだ。